

第15期 MOT (技術マネジメント) 研究会

開催のご案内

テーマ：新たな時代の新規事業創出の着眼点

[2023年大阪開催]

- ◆ 会 期：2023年7月26日(水)～11月13日(月) ※全5回
- ◆ 会 場：大阪科学技術センタービル会議室
(大阪市西区鞆本町1-8-4)
各回オンライン視聴のみの参加方法もご用意(第4回は除く)
- ◆ 講 師：(講義および各回のコーディネーター)
神戸大学大学院経営学研究科教授
原 田 勉 氏
- ◆ 実践事例：リンカーズ、日本ガイシ、中外製薬
- ◆ 特別視察：クボタ グローバル技術研究所(堺市)
- ◆ 対 象：研究・開発部門、技術部門の管理者・リーダーの方々
企業内でMOTの推進・教育に携わるの方々 など
(会場定員 30名)

開催にあたって

グローバル競争の激化や国内市場の縮小化など、企業を取り巻く事業環境は変化しております。そのため、各企業においては自社製品・技術の優位性がゆらいでおり、新たな価値やイノベーションの創出が求められております。

そして、このイノベーションをいかに生み出すかを考えるのがMOTの主要テーマであり、本研究会ではその推進のための技術マネジメントのしくみ、新たな組織能力の高め方、研究開発活動のプロセスなどについて考えます。指導講師のコーディネートのもと、他社事例の発表とディスカッションをもとに、実践から得られるヒントを学んでいくカリキュラムとなっております。

今年のテーマは「新たな時代の新規事業創出の着眼点」です。昨今注目される、DXやカーボンニュートラル等の潮流の中で、社内外の柔軟な連携・提携によりイノベーションを推進し、既存の事業領域にとらわれない新しい事業価値を社会に提供できる組織であることが、これからの新たな時代を勝ち残る企業の条件と言えるのではないのでしょうか。

この機会に、関係各位の積極的なご派遣(ご参加)をおすすめ申し上げます。

主 催



一般社団法人 日本経営協会

指導講師

神戸大学大学院経営学研究科 教授
Ph.D. (スタンフォード大学) 博士

原田 勉 氏



〔略歴〕 1989年一橋大学商学部卒業
1991年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了
1997年スタンフォード大学よりPh.D.(経済学博士)取得
1997年神戸大学経営学部助教授
1998年科学技術政策研究所客員研究官(～99年)
2003年INSEAD 客員研究員(～04年)
2004年ハーバード大学フルブライト研究員(～05年)
2005年神戸大学大学院経営学研究科教授

〔専攻〕 経営戦略・組織・技術マネジメント、産業組織・経済成長論

〔著書〕 『「価値」こそがすべて!』(訳) 東洋経済新報社 2023年
『POSITIVE DEVIANCE(ポジティブデビアンズ)』(訳) 東洋経済新報社 2021年
『OODA MANAGEMENT(ウーダマネジメント)』東洋経済新報社 2020年
Economics of an Innovation System, Routledge, 2019年
『OODA LOOP(ウーダループ)』(訳) 東洋経済新報社 2019年
『イノベーションを巻き起こす「ダイナミック組織」戦略』日本実業出版社 2016年
『イノベーション戦略の論理』中央公論新社 2014年
『実践力を鍛える 戦略ノート[戦略立案編]』東洋経済新報社 2010年
『汎用・専用技術の経済分析』白桃書房 2007年
『ケース演習でわかる 技術マネジメント』日本経済新聞出版社 2007年
『実践力を鍛える 戦略ノート[企業価値評価編]』東洋経済新報社 2007年
『実践力を鍛える 戦略ノート[マーケティング編]』東洋経済新報社 2006年
『MBA 戦略立案トレーニング』東洋経済新報社 2003年
『ケースで読む 競争逆転の経営戦略』東洋経済新報社 2000年
『知識転換の経営学』東洋経済新報社 1999年 他

<指導講師からのメッセージ>

MOT(技術マネジメント・技術経営)について講演や研修を依頼される場合、よくあるリクエストは、他社での具体的な事例を数多く盛り込んで欲しいというものです。教科書のなかの話ではなく、現実にはどのような技術マネジメント、技術経営が実践されているのかは、多くの企業の方々にとって強い関心事であると同時に、その情報はきわめて限定されているのが実状です。というのも、このようなMOTに関する事項はトップシークレットとしてあつかわれることが多いからです。

このMOT研究会では、このような要望をもつ企業の方々に対して、日本を代表する優良企業で技術マネジメントを実践されている現場の方々に講師としてお迎えし、自社の事例について詳しくお話していただきます。そして、そこで問題提起された事項について2時間ほどの時間をかけて徹底的に討議していきます。毎回、受講生全員に質問してもらおう機会を設け、きれい事ではなく本音でやり取りをすることで大きな学びにつながっています。

MOTに関心をもっているけれども、まずは先端的な企業ではどのようにそれが実践されているのか知りたい、自社でMOTを導入しているけれども、どのようにすれば成果が上がるのかヒントを得たい、といった要望をお持ちの方々には是非ともご参加いただき、共に研究していきたいと思えます。

研究会のすすめ方・特長

- 1 多彩なゲストスピーカーの講話や視察を通し、技術マネジメントのあり方と実践について多面的に学びます。また、各回とも指導講師のコーディネートのもと、質疑応答や討議・意見交流を深めます。
- 2 懇親交流会を通し、参加者同士の交流と親睦をはかります。
- 3 全会合終了後は、すべての議事録を1冊にまとめ、報告書として進呈いたします。



日時・会場	テーマと内容	当日のスケジュール(予定)
<p>第 1 回</p> <p>7月26日(水) 13:30~18:30</p> <p>会場 大阪科学技術 センタービル</p>	<p>基調講義 「バリューベース戦略とイノベーション」</p> <p>講 師： 神戸大学大学院経営学研究科 教授 原田 勉 氏</p> <p>戦略の最先端の考え方として現場で大きな成果をあげているものとして、バリューベース戦略があります。この講義では、バリューベース戦略やその実践的手法としてのバリューマップについて解説し、このバリューベース戦略を実現するためのイノベーションの手法について私の最新の研究成果に言及しながら議論していきます。OODAループやそれを実行していくための球体型組織、洞察・直観モデルについて紹介いたします。</p> <p><懇親交流会> 同ビル内で実施予定</p>	<p>13:30 開会 13:35 講話 15:05 小休憩 15:20 質疑応答 15:50 討議とまとめ ※指導講師、参加者の間で討議と意見交流</p> <p>17:00 ~ 18:30</p>
<p>第 2 回</p> <p>8月21日(月) 13:30~17:00</p> <p>会場 大阪科学技術 センタービル</p>	<p>「ベンチャー企業経営のリアルとオープンイノベーションの進化」</p> <p>ゲスト： リンカーズ株式会社 取締役 加福 秀互 氏</p> <p>ビジネスマッチングを通じてイノベーションを支援してきたリンカーズは、創業から上場に至る10年間にわたって、様々な形でイノベーション支援の取り組みを行ってきました。本講演では、リンカーズのイノベーション支援の取り組みの変遷や、その時々ของบริษัท経営の振り返りについてご紹介いただくとともに、今後狙っているオープンイノベーションの新たな可能性について、ご紹介いただきます。</p>	<p>13:30 開会 13:35 加福氏ご講話 15:05 小休憩 15:20 グループ討議 15:50 質疑応答とまとめ ※ゲスト、指導講師、参加者の間で討議と意見交流</p> <p>17:00 終了</p>
<p>第 3 回</p> <p>9月13日(水) 13:30~17:00</p> <p>会場 大阪科学技術 センタービル</p>	<p>「社会環境の大きな変化が生じている現在を「第三の創業」と位置付けた日本ガイシの挑戦」</p> <p>ゲスト： 日本ガイシ株式会社 理事 NV推進本部 本部長補佐 兼 経営企画室 プロジェクトグループ担当 山田 孝 氏</p> <p>日本ガイシは1919年の設立以来、時代の変化に合わせ、社会課題の解決への貢献を独自のセラミック技術をコアに進め、同時にビジネスの多角化とグローバル展開を進めてきました。昨今の脱炭素化の流れによる自動車産業のEV化に伴い、現在の主力事業の自動車内燃機関向け事業の消滅が現実味を帯びており、新規事業創出に向け発足したNV推進本部と各本部の連携によるDAC装置などの取り組みや大容量蓄電池NAS電池でのコトづくりなど新たな挑戦を、日本ガイシの過去、現在、未来への取り組みからご紹介いただきます。</p>	<p>13:30 開会 13:35 山田氏ご講話 15:05 小休憩 15:20 グループ討議 15:50 質疑応答とまとめ ※ゲスト、指導講師、参加者の間で討議と意見交流</p> <p>17:00 終了</p>
<p>第 4 回</p> <p>10月 4 日(水) 13:00~16:30</p> <p>会場 特別視察 (株)クボタ グローバル技術研究所 (堺市)</p>	<p>「クボタのイノベーションと研究開発」</p> <p>ゲスト： 株式会社クボタ 取締役専務執行役員 研究開発本部長 グローバル技術研究所長 イノベーションセンター副所長 カーボンニュートラル推進部長 木村 浩人 氏</p> <p>1890年の創業以来、クボタは人類の生存に欠かせない食料・水・環境に関わる社会課題の解決に取り組んでいます。人類の持続的発展を可能にするカーボンニュートラル・資源循環技術、スマート農業等のメガトレンド技術を見据え、クボタが新たなビジネスモデルを確立させるイノベーションやグローバル研究開発の手法および昨年クボタがグローバル技術研究所を新たに設立させた狙いや機能、役割についてご紹介いただきます。</p>	<p>13:00 開会 13:10 木村氏ご講話 14:50 研究所見学 16:00 質疑応答とまとめ 16:30 終了</p>
<p>第 5 回</p> <p>11月13日(月) 13:30~18:30</p> <p>会場 大阪科学技術 センタービル</p>	<p>「中外製薬における全社DX推進とデジタルを活用した革新的な新薬創出への取り組み」</p> <p>ゲスト： 中外製薬株式会社 デジタルトランスフォーメーションユニット デジタル戦略推進部長 金谷 和充 氏</p> <p>中外製薬では2030年までの成長戦略(TOP I 2030)実現のキードライバーの1つとしてDXを掲げています。DXを通じて目指す姿として、CHUGAI DIGITAL VISION 2030を策定し、その達成に向けて全社デジタル基盤強化(デジタル・IT基盤、人財育成等)、全てのバリューチェーン効率化、デジタルを活用した革新的な新薬創出の3つの戦略を推進。戦略をリードする組織としてデジタルトランスフォーメーションユニットを設立しDXを更に加速しています。本講演ではDXに関わるこれまでの取り組みについてご紹介いただきます。</p> <p><懇親交流会> 同ビル内で実施予定</p>	<p>13:30 開会 13:35 金谷氏ご講話 15:05 小休憩 15:20 グループ討議 15:50 質疑応答とまとめ ※ゲスト、指導講師、参加者の間で討議と意見交流</p> <p>17:00 ~ 18:30</p>

※ 上記の時間帯については、当日の進行状況により、多少変更させていただきます。また、各回の討議の進行については、当日の状況にあわせて指導講師がコーディネートします。

※ 諸事情により、日程・講師・内容等に変更が生じる場合がございます。

◆企画委員 (50音順) 本研究会の発足にあたり、主旨へのご賛同や企画へのご協力をいただいた方々

飯塚 憲央 氏 東洋紡株式会社 経営企画部長

請川 信 氏 パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社
組織・人材開発センター 研修開発部 部長

栗木 隆 氏 江崎グリコ株式会社 取締役

後藤 洋明 氏 株式会社ノーリツ プロダクツ本部
研究開発本部 技術戦略推進室 室長

佐々木幹雄 氏 住友ファーマ株式会社 技術研究統括部長

佐藤 夏樹 氏 ミズノ株式会社 グローバル研究開発部 部長

武田 信明 氏 ダイキン工業株式会社
テクノロジー・イノベーションセンター
テクノロジー・イノベーション戦略室 担当課長

鳥越 泰光 氏 シスメックス株式会社 技術戦略本部
R&D 企画部長

藤田 優 氏 日立造船株式会社 開発本部 業務部長

森田 哲司 氏 大阪ガス株式会社 理事 エネルギー技術研究所長

◆実施要領・申込要領

会場開催

- ◇会 期：2023年7月26日(水)～11月13日(月)(全5回)
- ◇会 場：大阪科学技術センタービル会議室(大阪市西区靱本町1-8-4)
- ◇受講登録：1社につき2名様までのお申込が可能です。※登録者以外の方の代理出席も可能です。
- ◇定 員：30名
- ◇参 加 料：(1社あたり 税込み)

参加料	1名登録の場合	2名登録の場合
本会会員	99,000円	165,000円
一 般	143,000円	209,000円

※銀行振込の手数料は貴社にてご負担ください。

- ◇申 込 方 法：本会ホームページからお申し込みください。追って、参加券・請求書をお送りいたします。
- ◇申込締切日：2023年7月14日(金)
- ◇そ の 他：お振込みいただいた参加料は原則として返金いたしかねますので、ご都合が悪くなられた場合は代わりの方のご登録をお願いいたします。
新型コロナウイルス感染拡大防止の状況により、Zoomを使用して例会を開催する場合や、中止・延期・日程変更となる場合があります。何卒ご了承下さい。

オンライン開催

- ◇日 時：2023年7月26日(水)、8月21日(月)、9月13日(水)、11月13日(月)
：各回13:30～15:00(90分)のご講話部分のみ ※第4回のオンライン中継はございません。
- ◇視 聴 方 法：Zoomウェビナー形式(カメラ・マイクは不要です)
- ◇受講登録：各回あたり、1社5名までご視聴登録いただけます。
- ◇参 加 料：(1社あたり 税込み)

参加料	全4回受講	個別受講
本会会員	40,700円	11,000円
一 般	55,000円	14,300円

※銀行振込の手数料は貴社にてご負担ください。

- ◇申 込 方 法：本会ホームページからお申込みください。
追って、参加券・請求書・Zoomの受講要領をお送りいたします。
視聴URLは、3営業日前を目途にご連絡いたします。資料の配布はございません。
- ◇申込締切日：2023年7月14日(金)または各開催回の8営業日前
- ◇そ の 他：開催5営業日前からのキャンセルについては、参加料の100%を申し受けます。
当日までにご連絡なく欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますのでご了承ください。
原則、開催日以降の見逃し配信はございません。

◆お申込・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会 関西本部 「MOT研究会」事務局 (担当：田中)

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階

TEL：06-6443-6962 FAX：06-6441-4319 E-Mail：ksosaka@noma.or.jp